

らしんばん

「正月の富士山」

「世界遺産 沖縄 首里城」

「台湾野柳地質公園 女王の頭」

発行者 静岡県議会議員
鈴木すみよし事務所

2014年2月議会号

発行日 2014. 3. 31

1. 2月議会(2/21~3/19) 県総合計画後期基本計画策定へ

＜総合計画の後期取り組み＞

県総合計画とは、平成22年度から平成31年度までの10年間で取り組む基本構想で、県政の全てがここに記されます。

前期・後期の二期に分かれており、2月議会では後期計画「後期アクションプラン(基本計画)」を策定するために、集中審査を行いその結果を知事に提言しました。(県議会初の試み)

審査は7つの分科会で実施し、私は個別審査、会派としての意見集約、分科会最終とりまとめの意見陳述など会派代表として任を担う機会をいただきました。

結果として多くの要望が反映され、より県民と一体になったと感じました。

本来、10年で達成する計画ですが、知事は任期2期(8年間)で前倒しによる達成を目指しています。

基本理念には「ポスト東京時代の日本の理想郷を創る」とし、古くから時代と共に都は移り、今は東京ですが日本の中心にある富士山が世界遺産に登録され、日本のシンボルとしてそこから導き出される価値に立脚した

地域づくりに邁進することを謳っています。

また、目指す姿では「県民幸福度の最大化」と定義し、「住んでよし 訪れてよし」「生んでよし 育ててよし」「学んでよし 働いてよし」の理想郷を目指すとしています。

表現の難しさについて議員からの指摘はありましたが、その時代背景をしっかりと組み入れたものと理解できます。

重点取り組みは、以下の通りです。

1. 大規模地震への万全の備え
2. 「内陸のフロンティア」を拓く取り組み
3. 人口減少社会への挑戦
4. 富士山を活かした地域の魅力づくり
5. 健康寿命日本一の延伸
6. 新成長産業の育成と雇用創造
7. エネルギーの地産地消
8. 多彩な人材を生む学びの場づくり

具体的な表記では、主な取り組みを年度ごとに明記すると共に、数値目標も掲げられています。審議の中で一番課題となったことの一つに、富士山静岡空港の利用者数85万人(平成29年度)があり、様々な要因から実現は難しいとの議会判断を示しました。

2. 2月議会議案内容(平成26年度予算審議)

主な議案は、次年度予算、本年度補正予算、条例制定・改正と上段で触れた総合計画後期基本計画への意見集約および提言です。予算審議では、防災、内陸フロンティアを拓く、富士山世界遺産関係の他、経済、福祉・医療、教育改革など、一般会計1兆1,802億円(年度比3.6%増)、特別・企業会計5,500億円余(約14%増)を審査し議決されました。

静岡空港は利用促進の他、新幹線新駅の設置の可能性については、JR対応に大きな課題があることや、新エネルギー促進については太陽光発電の更なる推進と燃料電池自動車が27年度から市場投入されることから、受け入れ体制について議論が交わされました。



目次:

1. 2月議会 県総合計画 後期基本計画策定へ P1
2. 2月議会 議案内容 平成26年度予算審議 P1
3. 所属する「企画広報文化委員会」での質問答 P2
4. 本年度二回目登壇 2月議会一般質問 P2
5. 議会外活動・視察報告 P3
6. 台湾との交流が深化 P4
7. 富士地域政策課題と進捗状況(各地の要望) P4
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4



3.11を忘れない(市民イベント)

ハイライト:

- ・県総合計画 後期基本計画は前倒しで実現へ
- ・景気回復見込みを想定し前年度比プラス予算編成
- ・常任委員会 各基本計画に踏み込んだ問題提起
- ・本年2回日の本会議質疑 広く&地域に踏み込んで
- ・基幹エネルギーは国任せでなく地方でも議論を
- ・企業だけでなく行政も事業継承(BCP)対策を
- ・日・中韓間の問題から見る地域外交(親台湾交流)



議員研修の一コマ。「議員・議会活動と政務活動費」が題材で厳格な定義で運用される。

今年は環境政策に色濃く関与した一年でした。エネルギー、廃棄物など、地元はもちろん国内外で、真にこれからの時代を背負う課題と再認識。



北九州市環境ミュージアムの展示物。日本の公害の歴史には、富士市の田子の浦港が。これを克服したのも事実。



環境未来都市を目指す北九州市。既に取り組んでいる事例が表記されている。公害を克服し世界一の環境都市へ。



駐日ベトナム大使館主催の旧正月行事でお会いした石原環境大臣。私の環境ビジネス構想に大きな関心を寄せた。

3. 所属する「企画広報・文化観光委員会」での質問と答弁(●は当局答弁概要) 所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1) 県多文化共生推進基本計画の見直し(来日するイスラム圏人の食への配慮)
 - 現在は県立大学内でのみ取り組んでいるが、全県的に取り組むべき課題と認識。
- (2) 県新エネルギー導入評価から天然ガスコージェネレーション導入の見直しを。
 - 経済的理由から石炭の導入が進んでいる。最新技術を追い風に多様化へ。
- (3) 県内自治体のBCP策定率50%目標は設定に疑問
 - 東日本大震災では情報確保が最大課題であった。早期復興のためにも努力へ。
- (4) 世界遺産委員会勧告の内、巡礼路の特定は地元の動向を注視すべき。
 - 各地での取り組みは認識しているので、情報交換を密にし進めていく。
- (5) 県総合交通計画の策定において、公共交通の維持は取り組みが甘い。
 - 自動車を含めた総合的な取り組みで臨んでいるが、公共交通維持は大きな課題。
- (6) 県文化振興基本計画における県民参加の原点は郷土芸能から始まるべき。
 - 郷土芸能については文化振興基本計画の冒頭で重要な位置づけと明記。

4. 2月議会一般質問および答弁(一部) 他の質疑応答はH.P.から確認できます。

1. 県職員の市町への派遣について(知事答弁)

人口減少社会を迎え、県と市町で共通する行政課題が増えた。両者が連携して取り組む必要性が高まっている。県行政改革新戦略会議の提言では、「市町、民間、県民と連携・協働して協力し合う仕組み」の構築を提言された。本県は市町に対し、権限委譲を全国一進めている実績もある。県と市町が一体となって、行政サービスの向上を図るための連携強化策として、市町の求めに応じ、県職員の市町への派遣を拡充することにより、県全体の行政運営の効率化・最適化と連携の推進を図っていく。これからの試み。

2. 中小企業のBCP対策について(部長答弁)

大規模地震や風水害等の被害を受けた際に、企業活動の早期再開につながるBCP策定は、被災時の経済被害の軽減と復興への道筋を付けるために、大変重要と認識している。中小企業の取り組み状況は企業規模が小さいほど遅れていることは現実であり、それを支援するために、独自のモデルプランを策定し普及に努めている。中小企業診断士を対象とした指導者養成講座も実施。専門家の派遣や商工団体・金融機関等と連携し、平時の経営にも役立つことを盛り込んでいく。県は2,000社以上の企業訪問で向上を目指す。

3. 東部地域スポーツ産業振興協議会設立の目的と期待される効果(部長答弁)

当協議会は、富士山や温泉などの地域資源を活用し、地元企業を中心に、産学民官が広域的な連携を図り、観光・健康の視点からスポーツ産業を創造することを目的に設立された。一元的な東部地域の情報発信や様々な相談をワンストップで対応できる窓口や、ものづくりの中小企業が参加して新たな事業を生み出すことが期待できる。

4. 環境に配慮した田子の浦港の整備について(知事答弁)

港湾内にある基準値を超えた底質土砂は平成25年度末までに全体の8割(42万立方m)が処理され、29年度に処理完了を目指している。製紙跡地での石炭火力発電は、大変歓迎すべきことで、石炭についても従来の常識を打ち破る極めてクリーンなものと解釈している。富士山世界文化遺産登録の観点から、煙突などの景観に配慮は必要だが、複数の背後地企業が石炭を導入するにあたり、県として環境保全のために法に基づき関与していく。

5. 自動車運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律の制定背景と周知方針

(県警本部長答弁) 悪質・危険運転といった重大な事故を起こしても危険運転致死傷罪に該当せず、刑が軽いという遺族に配慮した法改正。一方通行・高速道の逆走、アルコール・薬物の影響による事故、制令で定められた病気発症による事故、飲酒発覚を免れるための逃走、無免許運転などが該当。各種広報誌や医療機関・講習会で周知する。



5. 議会外活動・視察報告

地域外交(ベトナム・台湾)



1月下旬、駐日ベトナム大使館主催の旧正月の祝いに出席。フン特命全権大使はいつもにこやかに接してくれた。



ベトナムホーチミンにある日系住宅メーカーの合板工場を視察。循環型の環境への配慮や雇用創出など参考になった。



台湾中部阿里山にある森林遊楽区。杉檜の古代木が残る。台湾の林業開発先駆者で日本人の河合博士の碑。



嘉義県知事公邸で呈茶のおもてなしを受けた。嘉義県は台湾でも有名な茶の産地。静岡県茶業・観光にも参考となる。

国内視察(北九州市環境未来都市と次世代エネルギー・下関市場)



北九州水素ステーション。平成27年度から水素燃料自動車が市場へ投入。製鉄会社の副産物水素を隣接地に供給。



北九州市は製鉄関連企業による、大気、水質汚濁等の公害を経験した。克服の立て役者は婦人会の地道な活動。



石炭はもはや昔のような厄介者ではなく、窒素酸化物、硫黄酸化物、ばい煙も除去されCO₂も回収されるクリーンエネ。



下関唐戸市場をはじめ、漁港運営について視察。静岡県内でも漁業が盛んで、観光面と一体で取り組む現状を学んだ。

国内・県内視察(沖縄県航空貨物ハブ・最先端科学を学び研究する学術機関・県内看護の現場)



全日空(ANA)沖縄貨物ハブを視察。全国の荷物を翌日海外へ届ける施設。夜間稼働で実現。静岡空港利用の促進。



沖縄科学技術大学院大学。沖縄振興も兼ねているが、学術機関として中身は世界から注目されている。環境は抜群。



「自民党看護を考える議員連盟」に所属する県議会議員が、全県下を手分けして、各医療機関を訪問しヒアリング。→



→私は、御殿場市の訪問看護施設と富士市の病院を訪問。看護現場の厳しい状況を直に聞き、支援体制の参考に。

地域行事(富士市消防出初め式・成人式・凧揚げ大会・富士山世界遺産イベント)



富士市の消防出初め式。今回初めて県議会議員を代表し祝辞を申しました。寒さの中でこの緊張感は忘れられない。



富士市成人式。成人対象の中から実行委員会を立ち上げ運営。多少の騒々しさはあったものの、若者らしい祝典だった。



元吉原地区安全大会の一環として、鈴川海岸での凧揚げ。陽春を感じさせるのどかな中でのイベントでした。



ふじさんめっせにて富士山関連イベント。遺産委員会からの勧告にある、巡礼路の確定に合わせ吉原登山道も頑張る。

6. 台湾との交流が深化



中華民国(台湾)外交部(外務省)で、日本担当羅秘書長を表敬訪問。防災協定締結や富士山玉山友好提携のお礼に。



静岡県庁を表敬訪問した嘉義県張知事一行。2月議会中ではあったが、静岡県と実務的な交流について意見交換。



地域外交の根幹をなすのは民間交流。県内から島田市お茶関係者、静岡福祉大学地域交流センターの学生など参加。



嘉義県議会を表敬訪問。地方政治に関わる者同志で連携を確認。相互合流について具体的な話題で盛り上がった。

7. 富士地域政策課題と進捗状況(各地の要望から)



富士市比奈、通称根方街道の交差点付近の拡幅や路面補修、水路の課題などについて土木事務所立ち会いで確認。



富士市比奈根方街道沿いの歩道に鎮座する道祖神。地域要望に基づき、県の協力を得て近くの広い場所に移転へ。



富士岡花川戸付近の県道交差点改良が間もなく完了へ。信号設置が数ヶ月遅れることから供用開始もその後に。



左写真と同じ現場で市道部分。工期が大幅に遅れてしまい、利用者に迷惑をかけている。最善の対策を協議中。

8. ホットなニュース

◆ 県中小企業者の受注機会の増大による地域経済の活性化に関する条例(議員発議条例)

中小企業者の創意工夫および自主的な努力を基本としつつ、社会全体で中小企業者の受注機会の増大に取り組み、地域経済の活性化および県民生活の向上に寄与することを目的として、私の所属会派から提言し、全会一致で採択。県は積極的に県内中小企業への発注に努めることを明記。



須津地区川尻にあるため池は、平成23年3月15日の局地地震により漏水箇所が発生。対策を市とも協議中。



地域の消防活動の要は消防団。いま、全体になり手が減って防災対策の大きな課題に。(中里自衛消防団の出初め式)

◆ 消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例改正(議員発議条例の期限延長)

二年前に制定した条例を延長するもの。消防団員確保のため、団員が勤務する事業所等を支援するもので、法人事業税の軽減などの特例を定めている。制定以来この制度を適用した企業数も増加し、今後もその傾向がうかがえるため、さらに二年間の期限延長を行った。

◆ 2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 奨学金制度の充実を求める意見書
- ② 新聞等に消費税の軽減税率の導入を求める意見書
- ③ 慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書
- ④ 労働者保護ルールの見直しに関する意見書
- ⑤ 病院船の早期導入を求める意見書

9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもお返事いたしますが、時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。



発行者 静岡県議会議員

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先
 富士市比奈1418番地の2 〒417-0847
 Tel 0545-34-0683
 Fax 0545-38-0070
 メールアドレス: himena@tokai.or.jp
 ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>
 ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>